

第 20 回 FMくらら 8 5 7 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 午前 11 時 00 分～11 時 54 分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8 名

出席委員数 6 名

■出席委員 (敬称略)

茅 原 剛 会 長 (栃木市総合政策部長)

高 橋 一 典 委 員 (栃木市教育委員会教育部長)

池 田 正 委 員 (栃木警察署長)

石 田 栄 委 員 (栃木市消防本部消防長)

大 橋 良 久 委 員 (下野農業協同組合企画総務部長)

大和田 高 志 委 員 (栃木青年会議所理事長)

■放送事業者側出席者

高 田 光 浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長)

木 村 嘉 孝 (コンテンツ部課長)

宇 賀 神 仁 (コンテンツ部 FM グループ主任)

高 橋 友 莉 香 (コンテンツ部 FM グループ)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 議事

① 12 月 23 日 (日) 7 時台・8 時台にて放送

「栃木市沼和田町で発生した爆発とみられる火災についての放送」

(事務局) 当日の午前 0 時半過ぎ、栃木市沼和田町の飲食店で爆発とみられる大きな火災が発生、飲食店が全焼し、複数の客がけがをした。この火災について、生放送スタートの朝 7 時台で 2 回、8 時台で 3 回、概

要を放送。リスナーからも情報、メッセージも届くなどした。

- (委員) 警察・消防への取材に基づいた事実を伝えられていてよかった。リクエストに応じて何度か放送したのは地域密着だった。リスナーの投稿を織り交ぜて現場の状況を伝えていたが、その時本当にその状況だったのか分からないので、気を付けるべきではないか。
- (委員) 文字情報だけでは詳細なことがわからないこともある。リスナーの要望で数日前に北海道で同様の事故があったことから情報提供の希望があったと思う。発表された情報を今後も正確に伝えてほしい。
- (委員) 現状が非常によくわかる内容だった。だが、時間帯的には、お子さんが聞いている場合もあるので、わかりやすい言葉を使ったほうが良いと思う。(鎮火など)
- (委員) アプリの使い方の説明もしていたので、よかった。
- (委員) 地域で起きた身近な事件はリスナーも気になるので、引き続き適切な方法で伝えてほしい。スマホアプリの使い方を説明していたのは、とてもよかった。
- (委員) リスナーのリクエストに応じて瞬時に情報提供ができてよかった。火災の原因・背景が外国人の暮らしの中で起きたことだったので、外国人と、どのように付き合っていくか・どう防いでいくかというのも今後放送の中で試してほしい。
- (事務局) リスナーのメッセージの紹介の仕方については、指導不足だった。引き続き、聞いている人の立場に立った番組を心がけていきたい。現在、多言語放送などにも取り組んでいるが、今後、外国人の方向けの番組も検討していきたい。

② 1月3日(木) 10時00分～10時30分頃放送

「大川市長の新春ご挨拶のご出演」

- (事務局) 大川市長にコエドスタジオにお越し頂いて番組にご出演頂き、年頭に当たってのご挨拶、今年の抱負などをお話し頂いた。行政、市長という存在を、市民に身近に感じてもらえるよう、毎年、年初には市長にご出演頂いている。
- (委員) 市長の人柄をしのぼせるような質問をしてくれた。入り方がとてもよかった。話題も市政の状況や課題、将来に向けての政策についての紹介をされていて、リスナーへ伝わったのでは。冒頭、パーソナリティの声に比べて市長の声が小さいように感じた。市長の声がもう少し目立ってもよかったのでは。
- (委員) 普段とは違ったほのぼのとした市長の対談が良かった。後半が聞け

ていないため分からないが、リスナーが興味があるのはマニフェストや行政の進め方だと思うが、どうだったのか。

- (委員) 市長の人柄、どういったことを栃木市としてやっていくのかを聞いて良かった。嘉右衛門町のことなどを伝えていたので、そこから栃木の良さがリスナーに伝わっていただければいいなと思う。
- (委員) 市政はもちろん、年越しのプライベートな内容も話していて引き出してもらったので、より市民に親しみを感じられたのでは。
- (委員) 聞きたいことがおおむね入っていてよかった。冒頭の市長の声が小さくなってしまったのが残念。
- (委員) 市長が先頭に立って行政をPRしてくれた。市職員としてももっとPRしていこうと思う。
- (事務局) 冒頭の部分については、マイクチェック・音声チェックをもう一度反省し改め、指導をしていきたい。市長のお話の後半部分は、取り組みたい事業・市役所跡地の再開発について話をされていたと記憶している。

③1月13日(日) 9時00分～18時台まで随時放送

「栃木市成人式」

- (事務局) 市内6地区で行われた成人式の各会場にリポーターが訪問し、成人式の前後に、新成人へのインタビューなど生リポートを行った。また、夕方には、岩舟の実行委員会のメンバーをスタジオに招いて直接、話を伺った他、成人式の2次会が行われている栃木グランドホテルからのリポートも放送した。
- (委員) いろいろな新成人の思いが伝わってきた。藤岡会場で恩師のリポートが特によかった。新成人だけの成人式だけでなく、支えてくれた人の思い・喜びを話してもらえて伝わってきた。
- (委員) 恩師のインタビュー、先生方の思いが新成人だけでなく聞いたのが良かった。各会場で実施していたと思うが、もっと多くの人に抱負を聞いてもよかったのではないかと思った。
- (委員) 新成人が生き生きとインタビューに答えていて良かったと思う。リポーターの聞き出し方もよかった。楽しそうに新成人が受け答えしていたので、今後も続けてほしい。市民が参加できるものが増えるといい。
- (委員) いろんな抱負を聞いて、同年代は聞いていて思ったことがあったと思う。場所のもう少し詳しい説明を入れてほしい。
- (委員) タイプの違う新成人のインタビューが聞いた。成人式らしいと思う。話の内容から成人式の様子が伝わってきた。

(委員) 成人式の思いが伝わってきた。生中継はどこまで臨場感が出せるかというのが課題になると思う。今後も臨場感を出す工夫を凝らしてほしい。

(事務局) 場所の説明について、放送の中で地区の名前しか伝えていなかったのもので、リスナーの立場に立って会場の名前も伝えるなど、指導を改めてしていきたい。

④その他

(委員) 栃木青年会議所が以前提供していた番組では、子供たちの作文発表もやっていた。当時とは違い、アプリができて、遠方の親族も聞けるようになったので、アプリを使って、もっと栃木のまちを PR して行ってほしい。

(事務局) 生放送の良さを使って、緊急情報のほか、予防の呼びかけなど今後も放送を続けていきたい。

6. 審議機関の答申又は概要の公表

FM くらら 857 の放送内で告知 (平成 31 年 2 月中旬)

FM くらら 857 ホームページに掲載 (平成 31 年 2 月中旬)

■次回の日程開催

平成 31 年 3 月 25 日 (月) 午前 11 時予定